

省エネルギープロジェクト

田村市では、省エネルギーの情報を各世代、各企業で共有する「省エネルギー普及啓発プロジェクト」など、5つのプロジェクトを設定します。
そして、それぞれのプロジェクトを1本の木として、各プロジェクトを推進することで、田村市の省エネルギーの森を育てていきます。

～キャッチフレーズ～

みんなで育てる田村市の省エネの森



目標

田村市は、**2006年度(平成18年度)**を基準年とし
目標年度の**2021年度(平成33年度)**までに、
省エネルギーにより、**二酸化炭素排出量を8%減らします。**

省エネルギー行動の紹介

市民一人ひとりができる省エネルギー行動には、次のようなものがあります。
エネルギーを効率的に使って、かしこくシンプルな省エネルギー型ライフスタイルを心掛けましょう。

	No.	省エネルギー行動	年間 節約金額
冷 暖 房	1	暖房は20℃、冷房は28℃を目安に温度設定をする。 (冷房の設定温度を27℃から28℃に、石油ファンヒーターの設定温度を21℃から20℃に)	1,540円
	2	電気カーベットは部屋の広さや用途にあったものを選び、温度設定をこまめに調節する。	6,070円
	3	冷暖房機器の不必要なつけっぱなしをしない。 (冷房を1日1時間短縮、石油ファンヒーターを1日1時間短縮)	1,850円
照 明	4	こたつは敷布団と上掛け布団を使用し、温度設定をこまめに調節する。	1,790円
	5	照明に、省エネ型の蛍光灯や電球型蛍光灯を使用する。	1,850円
テ レ ビ	6	照明の不必要なつけっぱなしをしない。(蛍光灯を1日1時間短縮)	100円
	7	テレビの不必要なつけっぱなしをしない。	700円
キ ッ チ ン	8	冷蔵庫の庫内は季節にあわせて温度調整をし、ものを詰め込み過ぎない。	2,320円
	9	冷蔵庫は壁から適切な間隔をあけて設置する。	990円
	10	洗いのものをする際、給湯器の温度設定を出来るだけ低くする。	1,320円
	11	煮物などの下ごしらえに電子レンジを活用する。 (ブロッコリー、かぼちゃの場合)	1,030円
浴 室 ・ 洗 面 所	12	電気ポットは長時間使わない時には、コンセントからプラグを抜く。	2,360円
	13	お風呂は、間隔をおかすに入るようにして、追い焚きをしない。	5,730円
	14	シャワーはお湯を流しっぱなしにしない。	2,920円
洗 濯	15	温水洗浄便座は温度設定をこまめに調節し、使わない時はふたを閉める。	1,650円
	16	洗濯する際に、まとめて洗う。	3,950円
車	17	ふんわりアクセルやアイドリングストップなどの「エコドライブ」を実践する。	-
	18	外出時は、できるだけ車に乗らず、電車・バスなど公共交通機関を利用する。	-
そ の 他	19	電気製品は、使わない時はコンセントからプラグを抜き、待機時消費電力を少なくする。	-
	20	電気、ガス、石油機器などを買う時は、省エネルギータイプのものを選ぶ。	-

注：節約金額が条件により変動するものについては、「-」で示しています。
出典：(財)省エネルギーセンター



できることから始めてみましょう！

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.city.tamura.lg.jp>

【問合せ先】

田村市 市民部 生活環境課 環境衛生係
〒963-4393 田村市船引町船引字馬場川原20
電話：0247-81-2272 FAX：0247-82-4555

福島県地球環境保全キャラクター「エコだん」

概要版

田村市地域省エネルギービジョン



平成21年2月



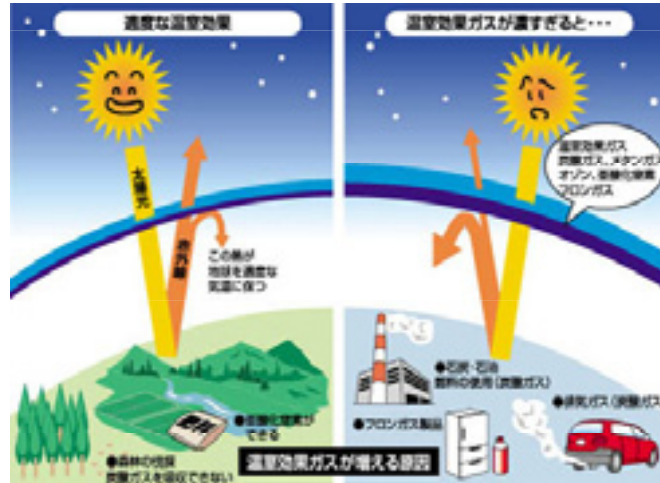
福島県田村市

省エネルギーの導入の背景

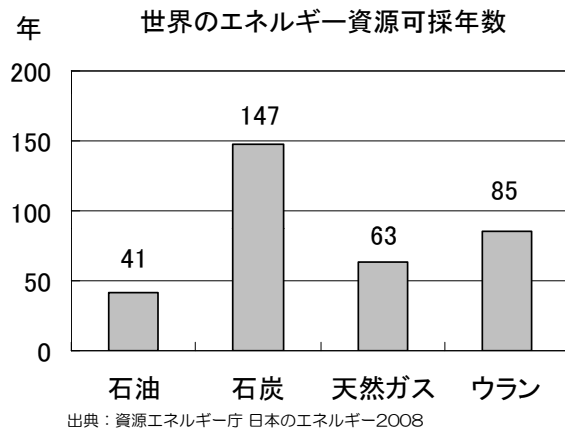
「地球温暖化」とは、大気中の温室効果ガス（二酸化炭素など）の濃度が増加して、地表面の温度が上昇する現象をいいます。

地球温暖化の原因は、私たち人間の活動による、温室効果ガス濃度の増加であると考えられています。

地球温暖化が進むと、異常気象や農業への打撃など、私たちの生活に様々な悪影響が心配されます。



出典：経済産業省キッズページ

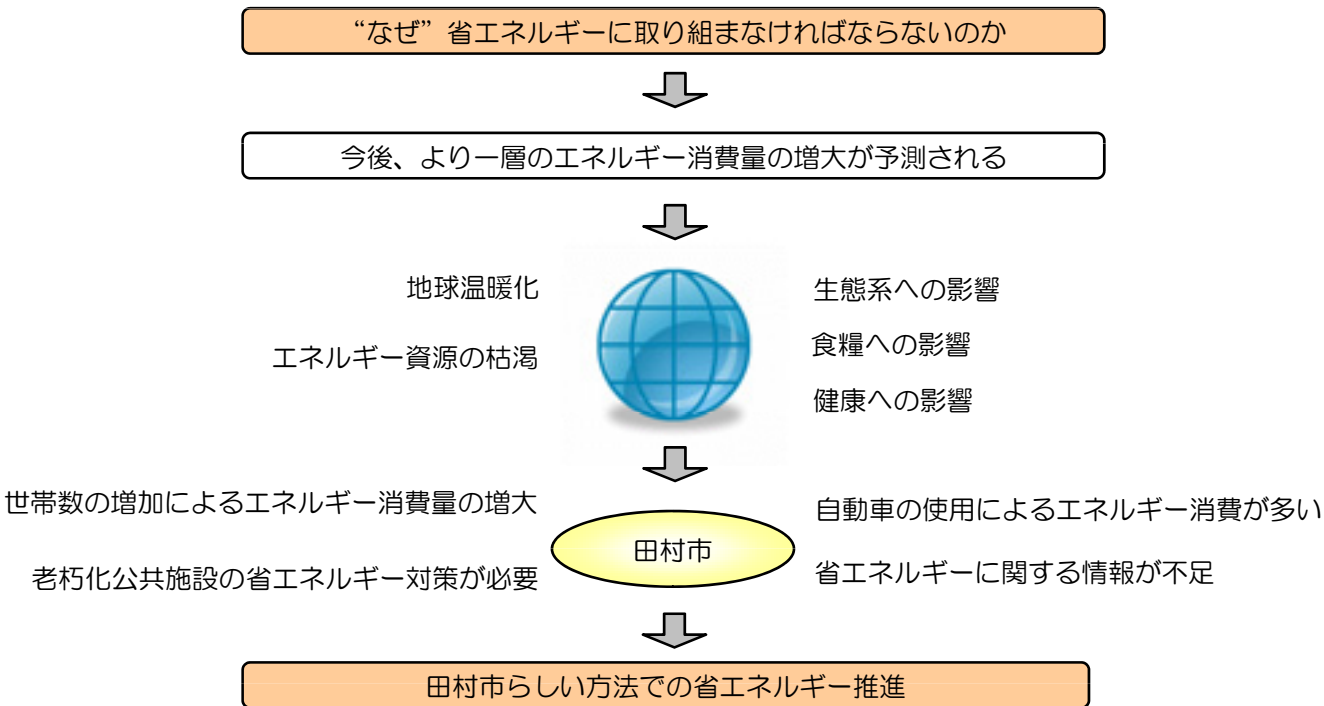


また、近年、私たちは、豊かで便利な生活を営むため、多くのエネルギーを消費しています。しかし、地球が永年かけて作り出した化石燃料には限りがあり、このままのペースで使い続けると、石油であれば約41年で枯渇することが心配されています。

もちろん、今後新たな油田や鉱山の発見の可能性はありますが、いずれにせよ限りある資源であることは間違いありません。

さらに、私たちの暮らす田村市では、工業団地への立地企業の増加や核家族化による世帯数の増加など、エネルギー消費量の増大が予想されます。

このようなことから、地球温暖化防止や化石燃料の消費削減のためには、省エネルギー対策を積極的に推進していく必要があります、それらに取り組むための指針となる「田村市地域省エネルギービジョン」を策定しました。また、田村市では本ビジョンを「地球温暖化対策地域推進計画」としても位置づけ推進します。



各プロジェクトの紹介

(1) 省エネルギー普及啓発プロジェクト

普及啓発プロジェクトにより、各々のプロジェクトの成果を情報発信します。

省エネメニュー	内容
イベントを活用した省エネルギーの普及啓発	関係団体との連携を図ることによる省エネルギーコーナーの充実や、市民や事業者の省エネルギー活動の実績を発表する場などの提供を行っています。
広報誌「たむら市政だより」や市のホームページを用いた情報発信	市内における省エネルギーの取り組み事例や市の取り組みの紹介、環境保全活動のPR、エネルギーや環境関係のリンク設定等を検討します。

(2) 行政率先プロジェクト

省エネルギーを市全体に広げるため、自らの省エネルギー活動を推進します。

省エネメニュー	内容
① エコカーテン推進	植物の種は、既に導入した小学校で収穫された種を譲り受け、公共施設に植え付けます。収穫した種は翌年エコカーテンを作る材料として使い、将来的には周辺の住民や事業者にも配布してエコカーテンを広めていきます。
② BDF利活用	遊休農地の活用や地場産業の活性化にもつなげるため、菜の花などの栽培を推進します。また、学校給食センターや各家庭などの廃食油からBDFを製造するとともに、公用車などの燃料として幅広い利用を検討します。
③ クリーンエネルギー自動車導入	公用車の買い替え時には、環境に配慮した低燃費車、電気自動車及びハイブリッド車などのクリーンエネルギー自動車の導入を検討することとします。
④ ノーカーデー推進	ノーカーデーを設定し、相乗りや自転車を利用した通勤の実施を検討します。また、広報誌や市のホームページを用いた普及啓発などを通じて、将来的にこの取り組みを市全域の取り組みへと発展させていきます。
⑤ 省エネルギー設備導入	コピー用紙の裏面利用・昼休みの消灯・エアコンの温度管理・クールビズなどの取り組みを今後も継続するとともに、今後は既存の照明を効率的なものに順次変更するほか、「省エネナビ」や「エコワット」の設置を検討します。
⑥ エコ改修	当市には老朽化した公共施設も散在することから、今後、公共施設を新設する際には、建築設計段階で高断熱・高气密仕様の省エネルギー効果の高い設備の導入を検討することとします。
⑦ ESCO事業	ESCO事業による公共施設の省エネルギー設備改修などに取り組むとともに、当事業で得られた削減効果等新エネルギーの導入につなげることを検討します。

省エネナビ

現在のエネルギーの消費量を金額で知らせると共に、利用者自身が決めた省エネ目標を超えるとお知らせする機器です。

出典：(財)省エネルギーセンター



エコワット

この表示器は家電製品の消費電力や電気料金を表示するもので、測りたい家電製品を「エコワット」に差し、コンセントにつなぐと測定を開始し、積算電力料金(円)・積算電力量(kWh)・積算通電時間(時間)を表示します。

出典：(財)省エネルギーセンター



ESCO事業

ESCO事業とは、ESCO事業者による省エネルギーサービスのことで、省エネルギー効果が保証され、省エネルギー改修した投資等の経費が、省エネルギーによる経費削減分でまかなえるのが特徴です。

県では、省エネルギー対策の推進方策として「福島県ESCO推進プラン」を策定し、県自らも率先してESCO事業の活用等による省エネルギーを進めることにしています。

(3) 市民プロジェクト

市民の皆様もできることから省エネルギーに取り組んでみませんか。

省エネメニュー	内容
① 環境家計簿推進	家庭でどのくらいエネルギーを使用しているかを把握し、省エネルギー活動に取り組むきっかけとして「環境家計簿」の活用を推進します。
② エネルギー・環境教育推進	小中学校において、子ども達が環境教育について理解を深める時間を充実していくよう、教職員と協力しながら推進していきます。

環境家計簿

日常生活で使用する電気やガスなどの量から、家庭でどのくらい二酸化炭素が排出されているか計算できます。

	項目	単位	使用/購入量	排出係数	CO2排出量	換算
ステップ1	電気	kWh		0.56		
	水道	m ³		0.58		
ステップ2	都市ガス	m ³		2.00		
	LPGガス	m ³		6.20		
ステップ3	灯油	リットル		2.50		
	ガソリン	リットル		2.30		
ステップ4	軽油	リットル		2.60		
	燃えるごみ	kg		0.84		

出典：ふくしまの環境家計簿

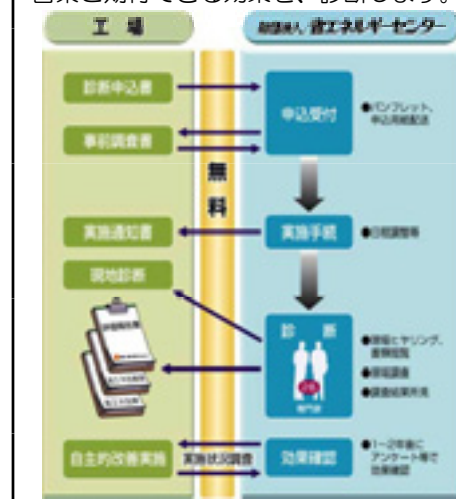
(4) 事業者プロジェクト

事業所でも、積極的に省エネルギーに取り組みましょう。

省エネメニュー	内容
① 小規模ESCO事業	事業者を対象としたESCO事業を地域ぐるみでビジネス化し、地元資本を中心とした事業主体を立ち上げ、環境ビジネスの振興を図ることを検討します。
② 省エネルギー診断推進	「省エネルギー診断」の積極的な活用により、問題点を見出し、生産過程を見直すことで、省エネルギー型の業務システム導入のための支援を図ります。
③ 省エネルギー事業者育成	事業者に「ISO14001」や「EA21(エコアクション21)」の制度に取り組んでもらうことにより、環境に配慮した経営体質を持った企業や事業者を創出し、結果として市内の省エネルギーの推進を図ります。

省エネルギー診断

熱と電気の専門家が、省エネルギーの改善策と期待できる効果を、診断します。



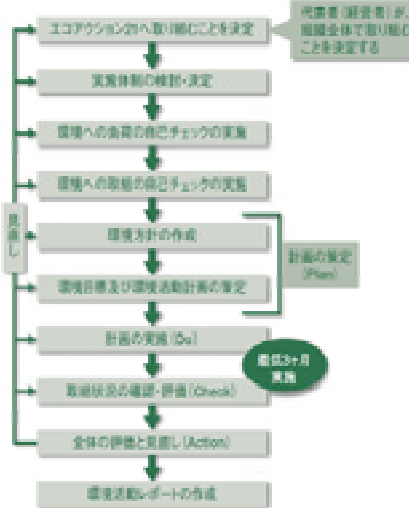
EA21(エコアクション21)

企業が環境に対する目標をクリアしているかどうかを評価してもらう制度としてISO14001があります。

これに対し、ISO14001より簡易な手法で、環境への取り組みをを広げようとするものに「EA21」があります。

この制度は、取得にかかる審査料の負担が少なく、中小企業でも取り組みやすいのが特徴です。

出典：エコアクション21中央事務局



(5) 市民・事業者協働プロジェクト

市民や事業者の省エネルギーを行政は応援します。

省エネメニュー	内容
① エコドライブ推進	市内にある自動車教習所と連携しエコドライブ講習会を実施したり、キャンペーンとして燃費改善コンテストを行うことを検討します。
② 木質バイオマス有効利用	薪ストーブなどの設備を導入する際に課題となるコスト負担に対応するため、当市独自の補助制度の創設を検討します。